

福井エフエム放送株式会社「民間放送ガバナンス指針」公表事項

福井エフエム放送株式会社（FM 福井）は、民間放送事業者として、公共の電波をお預かりし、福井県域の皆さまに情報・音楽・文化・安心を届ける役割を担っています。

当社は、一般社団法人日本民間放送連盟が定める「民間放送ガバナンス指針」の趣旨を踏まえ、地域に根ざすローカル FM 局として、公共性の発揮、人権尊重、法令・社会規範の遵守、透明性の向上、適切な経営体制の確立に取り組んでまいります。

当社の規模や事業内容に即した現実的な運用を行いながら、社会から信頼される放送局であり続けるため、以下のとおり適用状況を公表します。

1. 公共性の発揮

FM 福井は、県域 FM 放送局として、福井に暮らす人々の生活に寄り添い、地域の情報、文化、音楽、災害時の安全に関わる情報を届けることを重要な役割としています。

当社は、以下のパーパス、ミッション、ビジョン、バリューを掲げています。

Purpose | 存在意義

人と地域が、思いがけない出会いに心を動かされる社会をつくる。

Mission | 使命

クリエイティブで偶然をデザインし、地域の誇りを育てる。

Vision | 目指す姿

共感するクリエイティブを起点に、人と地域が動き出す影響力あるプラットフォーム。

Value | 行動価値

自らを律する——預かった資源への責任。

当社は、この PMVV を事業活動の軸とし、番組、ニュース、イベント、キャンペーン、デジタル発信を通じて、地域社会に必要とされる情報と体験を提供してまいります。

具体的には、以下のような番組・事業を通じて、地域の声を拾い上げ、地域の誇りを育み、人と地域がつながる機会を創出しています。

(1) 番組

生ワイド番組では、朝の情報番組「Morning Tune」（月曜～木曜 7:30～10:55）を放送しています。4名の女性パーソナリティが日替わりで担当し、県内のニュース、生活情報、音楽を届けています。名物コーナー「エリアボイス」では、福井県内17市町をさらに平成の合併前の旧30市町村単位まで細分化し、各地域にレギュラーレポーターを配置することで、地域に根ざしたきめ細かな情報発信に努めています。

夕方の生ワイド番組「Update Evening」（月曜～木曜 17:45～19:00／金曜 17:00～19:00）では、インスタグラマー、ラッパー、ロックバンド、チアダンスなど、地域にゆかりがあり、多様な背景を持つ Z 世代をパーソナリティに起用し、若い表現者に放送を通じた発信の場を提供しています。音楽を軸に、次世代の感性や地域の空気を伝える番組として展開しています。

また、期間限定特別番組として「Summertime Blues 夏、甲子園」を放送しています。福井県内すべての高校硬式野球部 28 校を取材し、夏の甲子園を目指す県大会前の球児の声を届けています。さらに「敗れしものたち篇」では、県大会で敗れたチームの 3 年生全員のインタビューを放送し、勝敗だけでは語れない高校生の時間と想いを記録する青春グラフィティとして展開しています。

同じく高校生の活動に光を当てる特別番組として「アオハルプラス」を放送しています。福井県内すべての高校吹奏楽部 26 校を取材し、大会前のみずみずしい高校生の声を届ける学校紹介とともに、「第 38 回 福井県吹奏楽コンクール 高校部門」の演奏をノーカットで放送しています。地域の高校生の努力と表現を、放送を通じて広く共有する取り組みです。

（2）イベント

音楽イベント「BEAT PHOENIX」は、若者向けの大型コンサートやフェスが少なかった福井において、音楽を通じて若い世代と地域をつなぐことを目的に、2006 年にスタートしました。若者の福井へのエンゲージメントを音楽で高める取り組みとして継続し、現在では 20 回を超える開催実績を持つ、FM 福井を代表する大型音楽イベントとして定着しています。

（3）キャンペーン

防犯ブザープレゼントキャンペーン「音で守ろう、小さな命」は、子どもを狙った犯罪から地域の子どもたちを守ることを目的に、福井県内すべての小学 1 年生へ入学式に防犯ブザーを進呈する取り組みです。約 130 社の協賛企業の協力を得て、20 年を超えて継続しており、「福井の子どもは必ず防犯ブザーを持っている」という状況をつくることで、犯罪抑止にも寄与することを目指しています。

これらの番組・イベント・キャンペーンを通じて、FM 福井は、地域の情報を伝えるだけでなく、地域の人々の声、挑戦、表現、安心を支えるローカルメディアとしての役割を果たしてまいります。

特に、災害時や緊急時には、放送局としての公共的責任を果たすため、自治体・関係機関等からの情報をもとに、県民の安全確保につながる情報発信に努めます。

また、福井の文化、産業、教育、福祉、防災、交通安全、地域活性化に資する取り組みを、放送および事業活動を通じて継続してまいります。

2. 人権尊重の徹底

FM 福井は、放送事業者として、また地域社会の一員として、すべての企業活動において人権を尊重します。

番組制作、報道、取材、営業活動、イベント運営、広告・CMの取り扱い、SNS等での情報発信、採用、雇用、取引先との関係など、当社のあらゆる活動において、差別、ハラスメント、不当な取り扱い、人権侵害を認めません。

当社は、以下の事項を基本方針とします。

(1) 差別の禁止と多様性の尊重

性別、年齢、国籍、出身地、障がいの有無、信条、職業、雇用形態、性的指向・性自認、家庭環境、社会的立場などにかかわらず、一人ひとりの尊厳を尊重します。

放送局として、多様な声や価値観が地域社会に存在することを理解し、偏見や固定観念に基づく表現・対応を行わないよう努めます。

(2) ハラスメントの防止

FM福井は、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント、モラルハラスメントその他あらゆるハラスメントを認めません。

社員間だけでなく、出演者、取材先、スポンサー、広告会社、制作協力会社、イベント関係者、フリーランス、派遣社員、アルバイトなど、当社の事業に関わるすべての人との関係において、相手の人格と尊厳を損なう行為を防止します。

(3) 相談窓口

ハラスメントに関する社内相談窓口は、以下のとおりです。

- 代表取締役社長
- 総務部長

相談者は、相談しやすい窓口を選ぶことができます。相談内容については、プライバシーに十分配慮して取り扱います。また、相談したこと、事実確認に協力したことを理由として、不利益な取り扱いを行いません。

ハラスメントに関する社外相談窓口として、当面、一般社団法人日本民間放送連盟が設置する「民放ハラスメント相談窓口」を利用します。

民放連は、民放ハラスメント相談窓口の運営業務を以下に委託しています。

1. 弁護士 長谷川弥生 氏
東京弁護士会所属、登録番号 41995
2. 弁護士 長谷川弥生 氏から委託を受けた弁護士

民放ハラスメント相談窓口は、相談の受付および当社への通知・対応要請を行うものであり、相談事案に対する調査や法律相談、当社の代理人としての解決、弁護士の紹介を行うものではありません。

相談を受けた場合、当社は必要に応じて事実確認、調査、当事者の保護、救済措置、職場環境の改善、再発防止策などを検討し、適切に対応します。

3. 法令や社会規範の遵守

FM 福井は、放送法、電波法、著作権法、個人情報保護法、労働関係法令、景品表示法、下請法その他関係法令を遵守します。

また、法令に明記されていない事項であっても、放送局としての公共性、放送倫理、社会規範、地域社会からの信頼に照らして、誠実かつ公正に判断します。

当社は、以下の事項について継続的に確認し、改善に努めます。

- 放送番組基準、民放連放送基準等に基づく番組・CM の適正な運用
- 災害時、緊急時における正確で迅速な情報提供
- 取材先、出演者、広告主、取引先との公正な関係
- 個人情報、機密情報、取材情報の適切な管理
- SNS 等における役職員の発信に関する注意喚起
- ハラスメント、差別、不適切な言動の防止
- 不正、利益相反、不透明な取引の防止
- 長時間労働の防止、有給休暇取得促進など働き方の改善

小規模な組織であることを踏まえ、形式的な制度整備にとどまらず、日常の報告・相談・確認を重視し、問題の早期把握と改善に努めます。

4. 透明性の向上

FM 福井は、社会全体がステークホルダーであるという放送事業の性格を踏まえ、企業情報の適切な開示に努めます。

当社は、民放連が示す経営情報フォーマットを踏まえ、以下の情報について、会社ウェブサイト等を通じて公表または公表に向けた整備を進めます。

- 資本構成
 - ① 発行可能株式総数 40,000 株
 - ② 発行済み株式の総数 10,000 株（自己株式 410 株）
 - ③ 当事業年度の株主数 57 名
 - ④ 大株主 発行済み株（自己株式を除く）の総数の 10 分の 1 以上の数の株を有する株主については、該当ありません。
- 主要株主（持ち株比率 5%以上） 福井放送(株)、福井テレビジョン放送(株)、(株)中日新聞社、(株)フジ・メディア・ホールディングス、(株)読売新聞大阪本社、(株)ジャパンエフエムネットワーク、(株)日本経済新聞社、(株)福井新聞社
- 役員構成 取締役 12 名（うち常勤取締役 2 名） 監査役 2 名
- 役職員数 12 名（令和 8 年 9 月 1 日現在 ※嘱託含む）
- 決算公告 <https://www.fmfukui.jp/company/>
- 番組審議会委員 <https://www.fmfukui.jp/company/banshin/>
- 自己批評番組「番組審議会だより」（毎月最終日曜日 23:55～24:00）

また、番組審議会の運営、リスナーから寄せられるご意見、スポンサー・取引先・地域社会との対話を通じて、自律が独善に陥らないよう努めます。

5. 適切な経営体制の確立

FM 福井は、取締役会および監査役による監督機能を通じて、適切な経営体制の確立に努めます。

取締役会では、決算、事業計画、重要な投資、人事・労務、コンプライアンス、リスク管理、放送局としての公共的責任に関わる事項について、必要な報告と審議を行います。

また、社外取締役および監査役の視点を通じて、業務執行が適切に行われているかを確認し、経営の透明性と健全性の向上に努めます。

万が一、人権侵害、コンプライアンス違反、ガバナンス不全が疑われる重大な事案が発生した場合には、関係者のプライバシーに十分配慮しながら、必要な調査、情報開示、再発防止策を検討し、信頼回復に向けて誠実に対応します。

6. 継続的な見直し

FM 福井は、本指針の適用状況について、当社の規模や事業内容に即して定期的に確認し、必要に応じて見直しを行います。

放送局に求められる社会的責任、法令・社会規範、民放連の指針、地域社会からの期待は、時代とともに変化します。当社は、そうした変化を受け止めながら、地域に信頼される放送局であり続けるため、ガバナンスの改善に継続して取り組んでまいります。

制定日：2026 年 9 月 1 日
福井エフエム放送株式会社
代表取締役社長 堀 謙